

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ グローバル・アロケーション・ポートフォリオ

ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型外国株式投資信託
「クラスA受益証券(米ドル建て)」 「クラスA受益証券(豪ドル建て)」
「クラスA受益証券(円建て)」

交付運用報告書

作成対象期間

第14期(2023年2月1日～2024年1月31日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ(以下「ファンド」といいます。)のサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ポートフォリオ(以下「ポートフォリオ」といいます。)は、このたび、第14期(以下「当期」といいます。)の決算を行いました。

ポートフォリオは、トータル・リターンの最大化を追求します。ポートフォリオは、投資目的を追求する上で、ブラックロック・グローバル・ファンドのサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ファンド(以下「投資対象ファンド」といいます。)のクラスX投資証券に、「リーダー・ファンド」として投資します。当期につきましても、上記に沿った運用を行いました。

ここに、運用状況をご報告いたします。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

管理会社 ブラックロック・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エー

代行協会員 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

第14期末

1口当たり 純資産価格	クラスA(米ドル建て)	19.56米ドル
	クラスA(豪ドル建て)	20.56豪ドル
	クラスA(円建て)	120.26円
純資産総額	クラスA(米ドル建て)	224,574,787.80米ドル
	クラスA(豪ドル建て)	82,395,961.53豪ドル
	クラスA(円建て)	3,115,728,701.19円
第14期		
騰落率	クラスA(米ドル建て)	8.25%
	クラスA(豪ドル建て)	6.09%
	クラスA(円建て)	1.72%
1口当たり 分配金額	該当事項はありません。	

(注1)騰落率は、受益証券1口当たり純資産価格に基づき計算していません。以下同じです。

(注2)「クラスA(米ドル建て)」とは、クラスA受益証券(米ドル建て)をいい、「クラスA(豪ドル建て)」とは、クラスA受益証券(豪ドル建て)をいい、「クラスA(円建て)」とは、クラスA受益証券(円建て)をいいます。以下同じです。

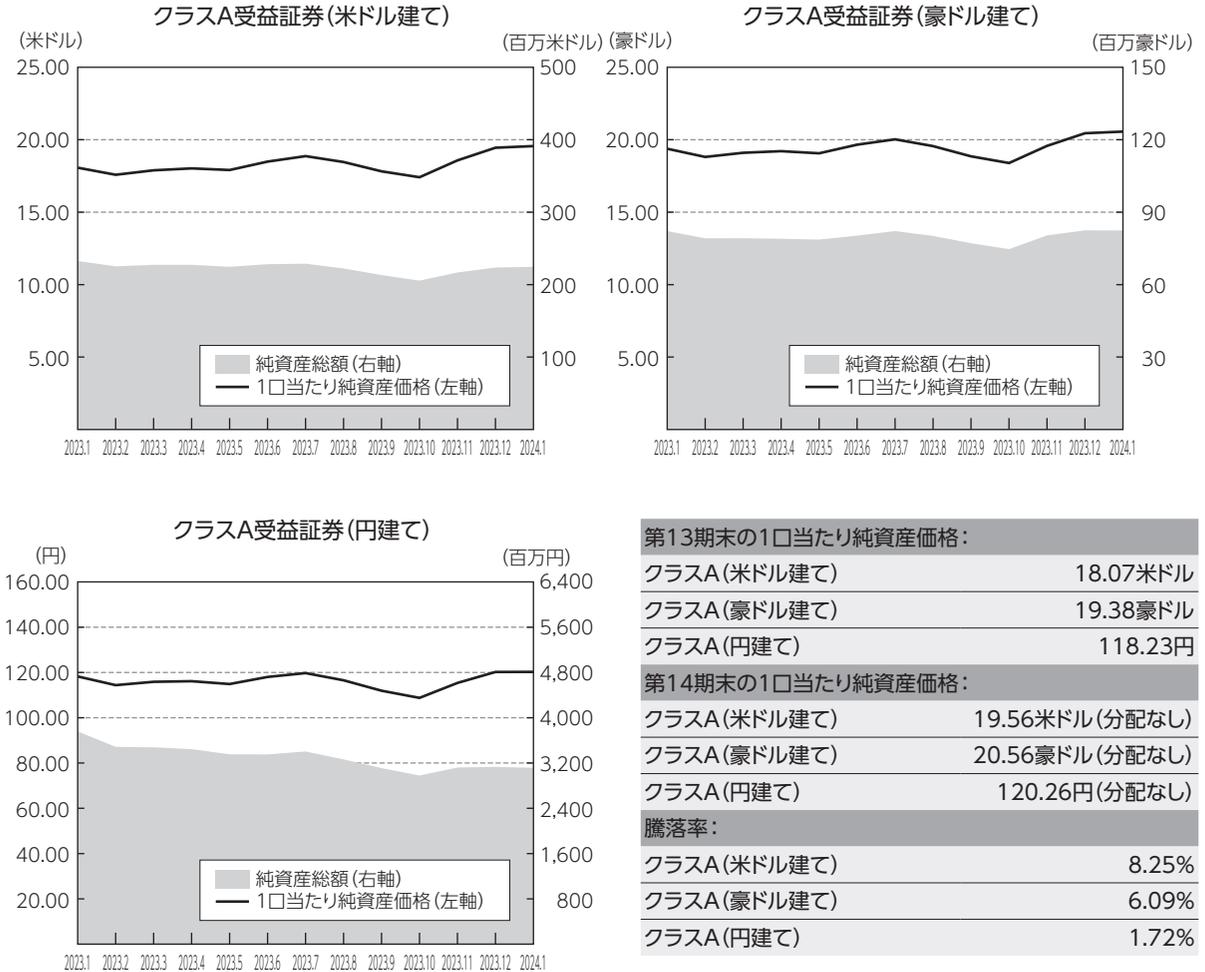
ポートフォリオの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、日本における販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会員のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/products/trust/index.html> 「外国投資信託運用報告書」)にて電磁的方法により提供しています。

◀ 運用経過 ▶

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第13期末の1口当たり純資産価格:	
クラスA(米ドル建て)	18.07米ドル
クラスA(豪ドル建て)	19.38豪ドル
クラスA(円建て)	118.23円
第14期末の1口当たり純資産価格:	
クラスA(米ドル建て)	19.56米ドル(分配なし)
クラスA(豪ドル建て)	20.56豪ドル(分配なし)
クラスA(円建て)	120.26円(分配なし)
騰落率:	
クラスA(米ドル建て)	8.25%
クラスA(豪ドル建て)	6.09%
クラスA(円建て)	1.72%

(注1) ポートフォリオは分配を行わない方針であるため、分配金再投資1口当たり純資産価格は記載していません。以下同じです。
 (注2) ポートフォリオの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) ポートフォリオにベンチマークは設定されていません。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

ポートフォリオは、当期を通じて8.25%の上昇となり、参照指数の10.10%の上昇を下回りました。ポートフォリオは、ブラックロック・グローバル・ファンドのサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ファンドのクラスX投資証券に、「フィード・ファンド」として投資しています。

2022年の混乱の後、投資家はインフレが緩やかになり、景気後退が収まったことによる恩恵を受け、2023年には大半の市場が上昇しました。しかし、今では株価が上昇し過ぎていないかと疑問を持つことが健全です。2024年には、経済の正常化が主要なテーマとなる可能性が高いため、より緩やかではあるものの、より広範囲の株価の上昇が予想されます。投資家としては、昨年上昇した銘柄の一部を売却し、エネルギー、自動車、航空および航空宇宙・防衛等の業界を含む、市場の多くの部分で取得可能な割安銘柄の取得を検討することも考えられます。

ポートフォリオでは、こうした分野に属する銘柄が、経済成長の減速を背景に上昇できる可能性があると考えているため、引き続き安定成長および質に重点を置いています。このエクスポージャーは、景気の減速に耐えられると考えられる、より景気循環型の業種へのエクスポージャーを増加させることによって、バランスをとっています。債券では、米国イールドカーブの短中期のエクスポージャーを选好し、金利変動に対する感応度という点で、全体的なポジションを若干縮小しました。長期米国債については、資産クラスに関連する供給リスクがあるため、引き続き慎重な姿勢を維持しています。債券エクスポージャーの大部分は、社債、証券化資産および新興国市場のソブリン債に分散しています。ポートフォリオのリスクを考慮した運用方針に沿って、(デュレーションに加えて)デリバティブ、金関連証券、現金、外国為替ポジション等、様々なポートフォリオ・ヘッジへのエクスポージャーを保有しています。

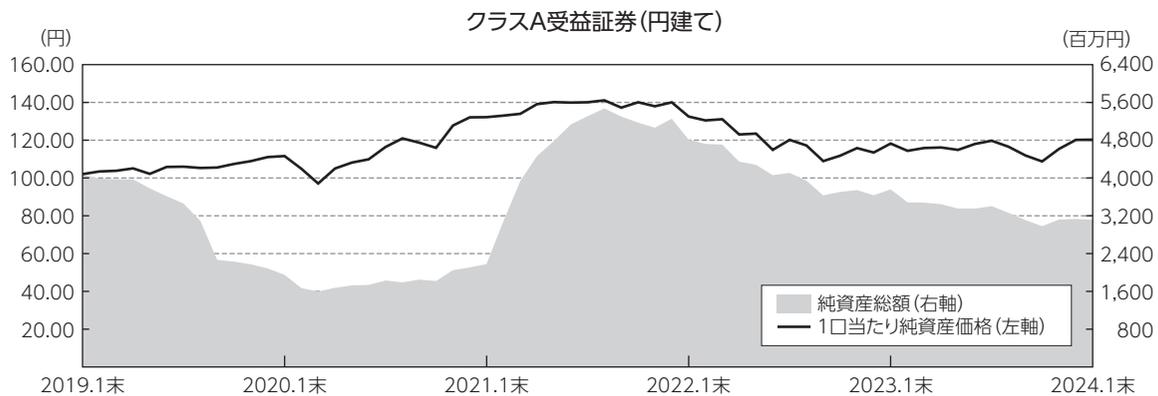
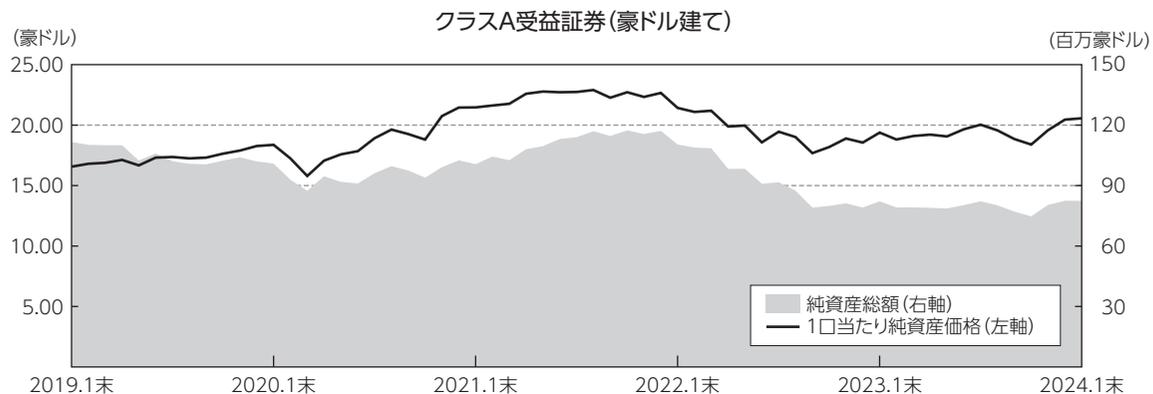
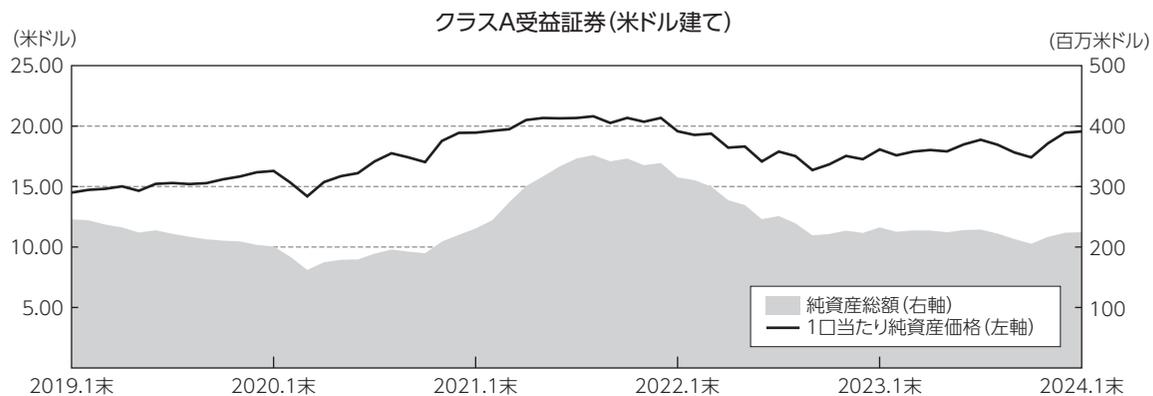
【費用の明細】

項目		項目の概要
年間管理報酬	0.75%	約款に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
年間販売報酬	0.70%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、販売会社に支払われます。
年間代行協会員報酬	0.05%	受益証券1口当たり純資産価格の公表および受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類の日本における販売会社に対する送付等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用(当期)	0.14%	保管報酬、管理事務代行会社報酬、名義書換事務代行会社報酬、管理業務会社手数料、運営に関するすべての費用(税金、法務および監査費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)を含みます。)、ルクセンブルグの年次税および所有する有価証券等の取引関連手数料等として支払われました。

(注1)各報酬については、目論見書に定められている純資産総額に対する料率を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をポートフォリオの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、ポートフォリオが組み入れている投資対象ファンドの費用を含みません。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



			第9期末 2019年 1月末日	第10期末 2020年 1月末日	第11期末 2021年 1月末日	第12期末 2022年 1月末日	第13期末 2023年 1月末日	第14期末 2024年 1月末日
1口当たり 純資産価格	クラスA(米ドル建て) (米ドル)		14.50	16.29	19.46	19.57	18.07	19.56
	クラスA(豪ドル建て) (豪ドル)		16.56	18.37	21.46	21.42	19.38	20.56
	クラスA(円建て) (円)		102.05	111.61	132.21	132.49	118.23	120.26
1口当たり 分配金額	クラスA(米ドル建て) (米ドル)		0	0	0	0	0	0
	クラスA(豪ドル建て) (豪ドル)		0	0	0	0	0	0
	クラスA(円建て) (円)		0	0	0	0	0	0
騰落率	クラスA(米ドル建て) (%)		-7.64	12.34	19.46	0.57	-7.66	8.25
	クラスA(豪ドル建て) (%)		-8.25	10.93	16.82	-0.19	-9.52	6.09
	クラスA(円建て) (%)		-10.08	9.37	18.46	0.21	-10.76	1.72
純資産総額	クラスA(米ドル建て) (米ドル)		245,792,863.19	200,862,883.23	230,686,748.08	315,101,134.19	232,545,854.51	224,574,787.80
	クラスA(豪ドル建て) (豪ドル)		111,599,069.46	100,896,132.24	100,599,384.67	110,389,573.88	82,169,918.26	82,395,961.53
	クラスA(円建て) (円)		4,071,752,805.59	1,950,230,774.29	2,177,118,682.41	4,808,224,321.00	3,758,712,296.65	3,115,728,701.19

(注) ポートフォリオにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

【投資環境について】

2023年の世界の株式市場は、非常に不安定だった2022年よりもはるかに好調でした。株価のボラティリティは当期を通じて継続的なテーマであり続けましたが、全体的な方向性は上向きでした。2022年半ばに米国と欧州で始まったインフレ率の低下は継続し、多くの主要国のインフレ率は当期末時点で中央銀行の目標水準に近づきました。米国では2024年1月の消費者物価インフレ率が3.1%を記録した一方、ユーロ圏では2.8%まで低下しました。物価上昇圧力が緩和したことで、米国連邦準備制度理事会(以下「FRB」といいます。)、欧州中央銀行およびイングランド銀行は2023年秋に利上げ計画を停止し、2024年中のいずれかの時点での利下げを検討する準備があることを示唆することができると考えました。

当期中、株価が最も急落したのは、銀行部門の一部で発生した流動性危機により金融引き締め政策の潜在的影響が顕在化した2023年3月と4月でした。一方、米国議会では、民主党のジョー・バイデン大統領と共和党の議員との間で、米国政府の債務上限の引き上げについて合意が得られず、デフォルトの可能性に関する懸念が高まりました。その結果、5月末に事態が收拾し合意が成立するまで、世界中の市場でボラティリティが上昇しました。

しかしながら、市場は全体として着実に前進しており、特に、米国をはじめとする先進国では、金融引き締め政策が経済活動や労働市場に与える悪影響が懸念されたほどではなかったということが示され、株価を押し上げました。

一方で、中国の状況はまったく異なっており、パンデミック後の回復には引き続き大きなばらつきがありました。投資家は、2022年後半の中国の「ゼロコロナ」政策の終了により、急激に成長率が上昇することを期待していました。しかし、中国の投資家および企業のセンチメントは、世界的な借入費用の上昇を受けて、不動産セクターおよび銀行セクターにおける安定性に対する懸念に支配されました。企業債務の増加および中国株式市場の低迷を受けて、北京政府は複数の財政刺激策を試みました。対照的に日本の株式市場は当期中、世界で最も好調な市場の1つでした。中国の低迷、日本銀行による金融緩和政策の継続および日本のテクノロジー企業や製造企業の好調さを背景に、日本への資金流入が大幅に増加しました。

中国の産業活動の停滞に対する懸念は、当期中の大半で商品価格およびエネルギー価格の重荷となりました。しかしながら、サウジアラビアとロシアが発表した原油生産制限計画により、9月に原油価格が急騰し、エネルギー関連企業の株価が上昇しました。その後10月には、パレスチナでのイスラエルとハマスの間の新たな紛争のニュースを受けて、原油価格への上昇圧力がさらに高まりました。投資家は中東地域での危機の拡大を懸念し、また年末から年明けには紅海で商船が襲撃されたことで世界のサプライ・チェーンに大きな混乱が生じました。

当期を通じて、テクノロジー企業は、人工知能(AI)が当該セクターの成長を牽引することが見込まれるとの楽観論からの恩恵を受け、特にマイクロチップ製造企業やソフトウェア・サービス企業の株価が大きく上昇しました。当期後半の利下げ予想もこうした上昇をさらに押し上げました。その他では、2023年第4四半期の企業決算は、引き続き高インフレと金利上昇の不透明な影響を反映していました。

世界の債券市場にとっては、厳しい時期が続きましたが、2024年の利下げ観測により最終的には利回りが低下し、価格が上昇しました(債券の利回りは価格とは逆向きに動きます。)。10年物米国債の利回りは、2023年10月に金融危機後の最高値である5%近くにまで達した後、2024年1月末には3.9%となりました。

【ポートフォリオについて】

以下は、投資対象ファンドに関する報告です。

当期、引き続き地域、銘柄、資産配分等に運用制限を設けず、世界各国の魅力的と判断される銘柄に分散投資を行いました。

【分配金について】

該当事項はありません。

《今後の運用方針》

今後も引き続き、投資方針に従って、ポートフォリオの運用を行う方針です。

《お知らせ》

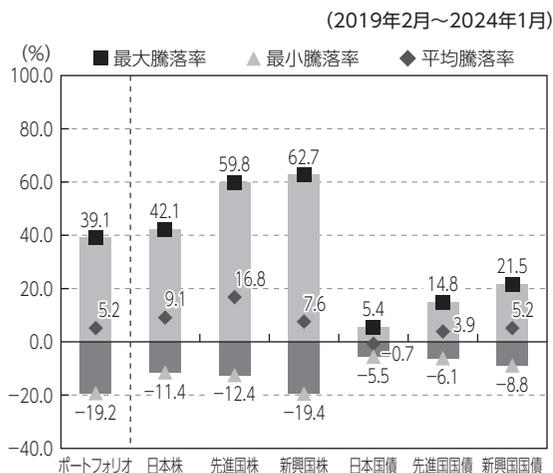
該当事項はありません。

《ポートフォリオの概要》

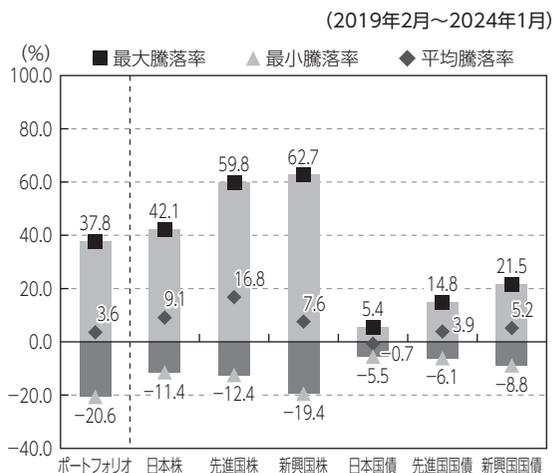
ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型外国株式投資信託(米ドル建て/豪ドル建て/円建て)
信託期間	ファンドおよびポートフォリオは、存続期間を無期限として設定されています。なお、ポートフォリオは、2010年8月20日に運用が開始されました。
運用方針	ポートフォリオは、トータル・リターンの最大化を追求します。
主要投資対象	(ポートフォリオ) 投資対象ファンドのクラスX投資証券 (投資対象ファンド) 全世界の民間企業および政府系発行体の両方の株式、債務証券および短期証券
ポートフォリオの運用方法	(ポートフォリオ) ポートフォリオは、投資目的を追求する上で、投資対象ファンドのクラスX投資証券に、「フィーダー・ファンド」として投資します。 ポートフォリオは、ファンド・オブ・ファンズの形態で運用されます。 (投資対象ファンド) 投資対象ファンドは、トータル・リターンの最大化を追求します。投資対象ファンドは、全世界的に、民間企業および政府系発行体の両方の株式、債務証券および短期証券に、規定された制限なく投資します。通常の市況において、投資対象ファンドは、総資産の少なくとも70%を民間企業および政府系発行体の証券に投資します。投資対象ファンドは、通常、投資顧問会社により、週小評価されていると判断される証券へ投資することを目指します。また、投資対象ファンドは、小規模会社および新興成長企業の株式に投資することができます。投資対象ファンドは、債務証券への投資部分の一部をハイ・イールド固定利付の譲渡性のある証券に投資することもできます。通貨エクスポージャーは柔軟に管理されます。 投資対象ファンドは、ストック・コネクトを通じて投資することにより中国に直接投資することができるストック・コネクト・ファンドです。また、投資対象ファンドは、国外投資者アクセス制度、ボンド・コネクトおよび/またはその時点で関連規則により許容されるその他の方法により、中国インターバンク債券市場において中国本土に流通する中国オンショア債券に直接投資することができるCIBMファンドです。投資対象ファンドは、合計でその総資産の20%を上限として、ストック・コネクト、国外投資者アクセス制度および/またはボンド・コネクトを通じて中国に投資することができます。 投資目的の一環として、投資対象ファンドは、総資産の20%を上限として、投資適格格付か否かに関わらず、資産担保証券(以下「ABS」といいます。))および不動産担保証券(以下「MBS」といいます。))に投資することができます。これらには、資産担保コマーシャル・ペーパー、債務担保証券、モーゲージ担保証券、商業用不動産ローン担保証券、クレジットリンク債、不動産ローン投資コンデュイット、住宅ローン担保証券およびシンセティック債務担保証券を含むことがあります。ABSおよびMBSの原資産は、ローン、リースまたは債権(ABSの場合にはクレジットカードの負債、自動車ローンおよび学生ローン、MBSの場合には規制および認可された金融機関に帰属する商業ローンおよび住宅ローン等)を含むことがあります。投資対象ファンドが投資するABSおよびMBSは、投資者へのリターンを高めるためにレバレッジを利用することができます。特定のABSは、直接証券に投資することなく様々な発行体の証券のパフォーマンスへのエクスポージャーを得るために、クレジット・デフォルト・スワップまたはデリバティブのバスケットといったデリバティブを利用して構築されることがあります。 投資対象ファンドの偶発転換社債へのエクスポージャーは、総資産の20%を上限とします。投資対象ファンドのディストレスト証券へのエクスポージャーは、総資産の10%を上限とします。 投資対象ファンドは、投資目的および効率的なポートフォリオ運用の目的のためにデリバティブを活用することがあります。
分配方針	ポートフォリオについては、分配金の支払は予定されていません。

(参考情報)

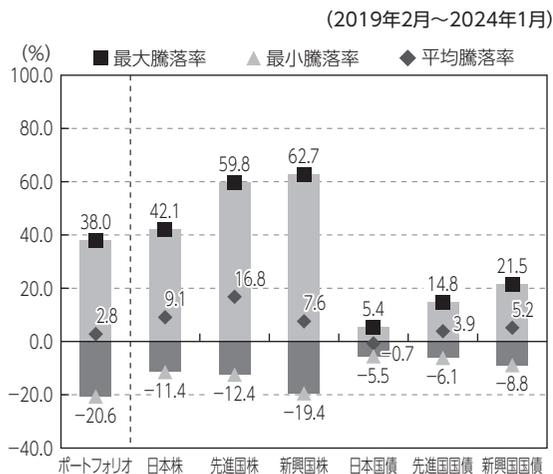
● ポートフォリオと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
クラスA受益証券(米ドル建て)



クラスA受益証券(豪ドル建て)



クラスA受益証券(円建て)



※前記のグラフは、2019年2月から2024年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均値、最大値および最小値を、ポートフォリオの各受益証券(表示通貨ベース)および他の代表的な資産クラス(円ベース)について表示したものです。

※すべての資産クラスがポートフォリオの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数

- 日本株…………… 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株……… MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株……… MSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円ベース)
- 日本国債……… NOMURA-BPI国債
- 先進国国債…… FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国国債…… J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス
エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

(注)日本株および日本国債以外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

《ポートフォリオデータ》

【ポートフォリオの組入資産の内容】(第14期末現在)

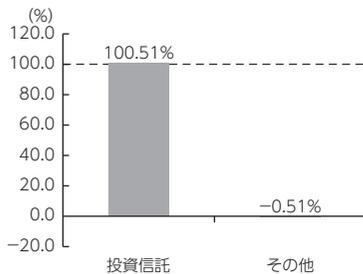
● 組入上位資産

(組入銘柄数: 3銘柄)

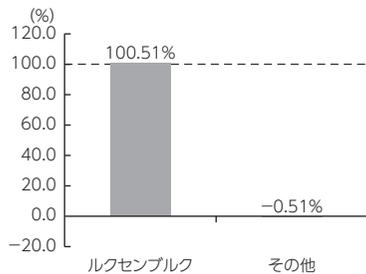
	組入比率
BlackRock Global Funds - Global Allocation Fund X Class non-distributing share	75.19%
BlackRock Global Funds - Global Allocation Fund X Class non-distributing share AUD hedged	18.23%
BlackRock Global Funds - Global Allocation Fund X Class non-distributing share JPY hedged	7.09%

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下の棒グラフも同様です。

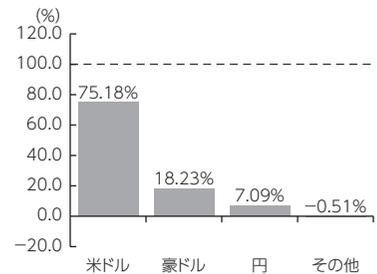
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項 目	第14期末	
純 資 産 総 額	クラスA(米ドル建て)	224,574,787.80米ドル
	クラスA(豪ドル建て)	82,395,961.53豪ドル
	クラスA(円建て)	3,115,728,701.19円
発 行 済 口 数	クラスA(米ドル建て)	11,433,233口
	クラスA(豪ドル建て)	4,007,319口
	クラスA(円建て)	25,907,431口
1口当たり純資産価格	クラスA(米ドル建て)	19.56米ドル
	クラスA(豪ドル建て)	20.56豪ドル
	クラスA(円建て)	120.26円

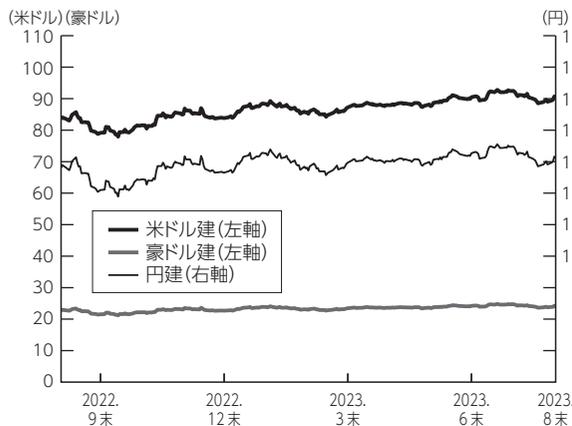
(注) 期末発行済口数は、決済日を基準として算出された数値であり、期末時点において未決済の取引に関する受益証券の口数が算入されていません。そのため、取引日を基準として算出された、ファンドの財務書類に記載された数値とは異なっています。以下の期中販売口数および買戻口数ならびに期末発行済口数についても同様です。

	第14期中				第14期末	
	販売口数	本邦内における販売口数	買戻口数	本邦内における買戻口数	発行済口数	本邦内における発行済口数
クラスA受益証券 (米ドル建て)	266,227	266,227	1,699,232	1,699,232	11,433,233	11,433,233
クラスA受益証券 (豪ドル建て)	210,800	210,800	442,535	442,535	4,007,319	4,007,319
クラスA受益証券 (円建て)	764,789	764,789	6,647,711	6,646,681	25,907,431	25,907,431

【投資対象ファンドの概要】(2022年9月1日～2023年8月31日)

 **ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド**

● **クラスX投資証券1口当たり純資産価格の推移**



● **保有銘柄情報**

(組入銘柄数: 1,469銘柄)

上位保有10銘柄	対投資対象ファンド純資産総額比率
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 1.7 08/15/2032	2.6%
MICROSOFT CORP	2.4%
TREASURY NOTE 4.125 07/31/2028	2.0%
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 2.3 02/15/2033	2.0%
APPLE INC	1.9%
ALPHABET INC CLASS C	1.7%
TREASURY (CPI) NOTE 0.625 01/15/2024	1.6%
TREASURY NOTE 4 06/30/2028	1.5%
SPAIN (KINGDOM OF) 2.55 10/31/2032	1.4%
AMAZON COM INC	1.3%

(2023年8月31日現在)

(注) 対投資対象ファンド純資産総額比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。後記の円グラフも同様です。

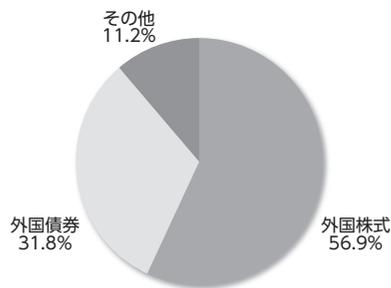
●費用の明細

(2022年9月1日～2023年8月31日)

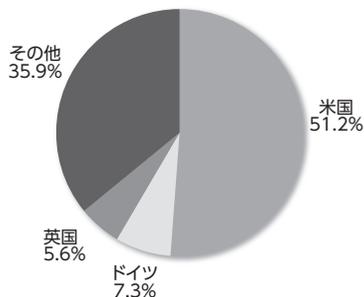
項目	項目の概要
保管報酬	年間報酬(証券の価額の0.0024%から0.45%)および取引報酬(1取引当たり5.5米ドルから124米ドル)
年間サービス報酬	投資対象ファンド純資産総額に対する年率0.20%(上限)
その他の費用(上記期間)	1.57%

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(上記期間)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当該期間のその他の費用の金額を投資対象ファンドの当該期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

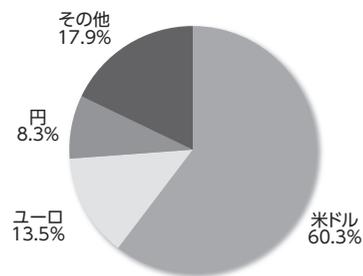
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(2023年8月31日現在)

(注)上記の各比率は端数を四捨五入して記載しているため、合計が100%とならない場合があります。